

平成23年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：平成23年9月27日（火） 11:00～16:00

会 場：日本外科学会 会議室

出席者：田口智章（理事長）、仁尾正記（副理事長）、上野 滋（理事・会長）、岩中 督（理事・副会長）、濱田吉則、菫澤融司、前田貢作、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡（以上理事）、窪田昭男、橋本 俊、土岐 彰（以上監事）、吉澤穰治（財務会計委員長）、渡井 有（財務会計副委員長）、小室広昭（庶務委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、家入里志、平川 均（以上庶務委員）、堀口裕輔（事務局）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、仁尾正記副理事長、北川博昭理事とした。
2. 平成23年度第2回定例理事会議事録につき、PSI Publication Committee担当理事は設けず委員長のみ設けるものであり、機関誌委員会の下部組織であることが確認された。また、秋季シンポジウム委員会および秋季シンポジウム小委員会のメンバーの構成につき、他科との関連も含め、継続審議事項とされた。
以上をもって、平成23年度第2回定例理事会議事録が承認された。

3. 報告事項

1) 理事長報告

田口理事長より以下の報告があり、了承された。

- (1) 日本医学会からのポスター・プログラム「第141回日本医学会シンポジウム」を受領した。
- (2) 日本麻酔科学会から寄贈本「Journal of Anesthesia Vol. 25No. 4」を受領した。
- (3) 日本医学会からのDVD「第140回日本医学会シンポジウム 炎症性腸疾患-最近の進歩-」を受領した。
- (4) 厚生労働省からの冊子「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 282」を受領した。
- (5) 日本医療機能評価機構からの冊子「NewsLetter 2011年3号」を受領した。
- (6) 常磐大学国際被害者学研究所からの通信文「第6回シンポジウム開催案内」を受領した。
- (7) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol. 41No. 9」を受領した。
- (8) 日本製薬工業協会からの冊子「製薬協 ニューズレターNo. 145」を受領した。
- (9) 難病のこども支援ネットワークからの冊子「がんばれ! No. 128」を受領した。
- (10) 日本ペインクリニック学会からのお知らせ「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (11) 日本医師会からの通信文「平成23年度日本医師会医学賞ならびに医学研究奨励賞受賞者の報告」を受領した。

- (12) 日本整形外科学会からの寄贈本「整形外科学用語集 第7版」を受領した。
(13) 日本がん治療認定医機構からの寄贈本「2011 年度版教育セミナーテキスト」を受領した。

2) 臓器移植関連学会協議会について

9月10日に開催された第16回臓器移植関連学会協議会に田口理事長が出席し、以下の報告がなされた。

- ・臓器移植法改正後の、脳死ドナーからの臓器提供は1年間で57件あった。
 - ・臓器別では、心臓移植38件、両肺移植21件、片肺移植24件、全肝移植47件、部分肝移植6件、膵臓腎臓同時移植40件、膵臓移植4件、腎臓移植71件、小腸移植4件
- 詳細は、第16回臓器移植関連学会協議会議事録が届き次第、追って報告することとなった。

4 審議事項

1) 第49回学術集会について（上野会長）

上野会長より、機関誌第47巻第6号へ掲載する第2次会告資料を基に、プログラム案の説明があり、承認された。

また、学術集会ホームページが開設されたことが報告された。

なお、国際セッションについては、3名の先生（Professor Prem Puri、Professor David Sigalet、Professor David Tuggle）へ参加の依頼をし、受諾の連絡があったことが報告された。

2) 第50回学術集会について（岩中副会長）

岩中副会長より、現在の準備状況につき報告された。

日 程 平成25年5月30日（木曜日）～6月1日（土曜日）

理事会・評議員会 平成25年5月29日（水曜日）

卒後教育セミナー 平成25年6月1日（土曜日）～6月2日（日曜日）

市民公開講座 平成25年6月2日（日曜日）

場 所 京王プラザホテル（東京都新宿区）

卒後教育セミナー、市民公開講座の場所は未定

3) 第27回秋季シンポジウムについて（窪田会長）

窪田会長より、第5次会告を基に、以下の報告があり、承認された。

- ・秋季シンポジウムの演題数が60題（リジェクト無）となった。
- ・特別企画「日本小児外科学会としての東日本大震災に対する支援活動（中間報告）」を開催する。

4) 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より会員動向について、以下の報告があり、承認された。

平成23年8月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,849名（うち海外4名）、評議員293名、名誉会員56名（うち海外9名）、特別会員58名（うち海外1名）の合計2,257名である。

5) 財務会計委員会（吉澤委員長）

吉澤委員長より平成22年度旅費について、近日中に最終確認を行う予定である旨、報告され、承認された。

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 機関誌委員会報告

北川担当理事より、以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・機関紙は第47巻第5号まで発刊されている。
- ・機関誌刊行業務委託先を学会誌刊行センターから中西印刷へ移行するにあたり、第49回学術集会の抄録（第48巻第3号）までは学会誌刊行センター、次号の第48巻第4号から中西印刷にて刊行していくこととする。
また、学会誌刊行センターへ業務委託契約解除の告知をする必要があり、告知内容について検討中である。
- ・故佐伯守洋先生の追悼文は慶応義塾大学黒田達夫先生に依頼し、すでに原稿を拝受している。機関誌第47巻第6号に掲載予定である。本多憲児先生、和田壽郎先生に関して、追悼文の依頼を打診したが、辞退する旨連があった。
- ・PSI 第27巻第8号の大半がダメージのある状態で届いたため、Springer社へ再納品依頼をし、コンディションの良いものが届いた。
- ・例年、第6号に掲載されていた、議事録・会計報告・役職名、委員会名の英訳・定款等諸規則を今年度からホームページに収載し、機関誌に掲載しないこととなるアナウンスを機関誌第47巻6号に掲載する予定である。なお、規則により専門医制度関係委員名と所属施設名を機関誌に掲載する必要があるため、役員名簿は例年通り第6号に掲載される予定である。
- ・PSI Editor-in-Chief である Prof. Prem Puri より指摘があった投稿論文の質の維持につき、新 Publication Committee で対策を講じる方向であり、具体的な方策については追って報告する。

(2) 国際・広報委員会

田口理事長より以下の通り報告され、承認された。

- ・ISW 開催報告について、北川理事より盛会に終了したことが報告された。
- ・学会ホームページへのバナー広告設置依頼があり、広告掲載規約に基いて手続きを進める。
- ・学会ホームページ更新については、各委員会がそれぞれ担当となるページのチェックを進めていく。

(3) 保険診療委員会

窪田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・平成24年度医科診療報酬改定要望につき、技術新設として、処置における小児加算の新設（新生児100%、3歳未満80%、6歳未満50%）を、技術改正として、胃・食道内24時間pH測定をA評価項目して決定した。岩中理事（外科学会保険診療委員会委員長）より、外科学会保険診療委員会としても、処置における小児加算を新設項目3番目として外保連に提出したとの追加発言があった。
- ・外保連手術試案第8版、処置試案第5版、検査試案第5版、麻酔試案第2版がほぼ完成し、11月発行の予定である。
- ・平成23年度診断群分類見直し作業につき、診断群分類見直しに係る調査票15件（心臓外科を含めると21件）、様式1の見直しに関する調査票1件を厚生労働省保険局医療課に提出した。

(4) 教育委員会

松藤担当理事より以下の通り提案がなされ、承認された。

- ・内視鏡手術セミナーについては、テンポラリーのセミナーであり、今後も教育委員会が担当となって、開催を検討していくこととする。
- ・マッチングシステムについて、直近10年間で利用されておらず、システム自体を継続するか廃止するかにつき、継続審議となった。
- ・ホームページ上の先輩からのアドバイスおよび留学体験記について、新たに執筆依頼を進め、更新していく。

(5) 悪性腫瘍委員会報告

前田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・小児がん認定外科医の申請受付が開始された。
- ・次期追跡調査（2001-2005年新規登録症例の5年後調査）については、2012年夏までに集計し、2013年3月までに完了予定である。
- ・日本小児がん学会と連携して行う小児がん全数把握登録事業については、現在、次登録データを待っている状態である。

(6) 学術・先進医療検討委員会報告

濱田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・ビデオライブラリーについては、発表された内容にテロップ、ナレーションを入れて若干手直しする。過去には遡らず第47回学術集会ビデオセッションから、出来上がっているものについて早急に掲載を進める。
- ・第49回のビデオセッションについては、抄録集および学術集会ホームページで、将来学会として配信予定である旨をアナウンスし、諾否を確認することとする。

- ・会員対象のアンケート調査については、正規のルールに則って行うよう評議員会、総会で会員に注意を喚起した。また、「全国規模の学術アンケート調査に関する規定」については、内容を再検討し、ホームページに掲載していくこととする。
- ・会員対象のアンケート調査について新規3件を承認した。

(7) 倫理安全委員会報告

菰澤担当理事より、以下の通り報告され、承認された。

- ・利益相反小委員会の委員は以下構成とし、利益相反規定の作成を進める。
担当理事：菰澤融司　委員長：吉田英生
委員：河野美幸、佐藤正人、新開真人、田中 潔、増本幸二
- ・小児外科勤務医の勤務状況に関するアンケート調査の結果について、現在集計中であり、追って報告する。

(8) 小児救急検討委員会報告

松藤担当理事より、以下の通り報告され、承認された。

- ・第27回秋季シンポジムの前日夕方に、特別企画「日本小児外科学会としての東日本大震災に対する支援活動（中間報告）」を開催する。
- ・PALS 講習会業務について、黒田達夫先生、浮山越史先生、靄 知光先生の3名を小児救急検討委員会のオブザーバーとする。

7) 会員情報管理システムについて（小室庶務委員長、NTT-PC 副島氏）

NTT-PC 副島氏より、資料に基き、会員情報管理統合システムに関する機能概要と概算見積について説明され、承認された。最終確定費用については財務会計委員会にて詰めることとなった。

なお、現在使用しているファイルメーカーのデータと NCD のデータを併用しなければいけない期間は、それぞれのデータから必要情報を取出して、申請することとする。

また、NCD登録手術術式と日本小児外科学会登録の手術術式との最終擦り合わせについては、データベース委員会にて対応することとなった。

8) 名誉会員・特別会員の推戴について

各種資料を参考に、候補者につき検討を行った。

9) 次回定例理事会の日程の確認について

次回理事会は平成23年10月26日（火）10：00～16：00 大阪国際交流センターにて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____